

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	朝霞台出張所管理事業					事務事業コード	01801
部 名	市民環境部	課 名	朝霞台出張所	係 名	出張所係	部課コード	030600

1. 事業概要

総合計画コード	6541				
事業年度	年度 ~ H	年度	事業類型	●ソフト事業 ○ハード事業	
法令等の義務付け	○法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 ○義務と任意の両方を含んでいる事業 ●任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)>	
めざす 目的成果	来所される市民及び職員が、安全かつ快適に手続きや執務ができています。				
事業内容	安全かつ快適な環境にするために、定期的な清掃、自動ドアの点検及び施設警備等の維持管理を行う。				
事業手法	☐ 市の完全な直営 ☒ 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) ☐ 市民等との協働 ☐ 補助金交付 北朝霞駅及び朝霞台駅に近いマンションの1階部分を賃借し自動ドア、空気調和設備の保守点検、施設の清掃、機械警備を民間企業に委託し、出張所施設の維持管理を行う。				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容			自動ドアの保守点検を年2回、空気調和設備の保守点検を年2回・フィルター清掃を年4回実施した。施設清掃は、日常清掃を19回、定期清掃を5回、トイレ清掃を年28回実施した。機械警備は、平日及び土曜日の夜間、日曜日及び祝日の全日にわたって実施した。									
			単位:千円		H26年度決算		H27年度決算		H28年度決算見込			
投入コスト	a 事業費[イ]～[ホ]				19,849		19,775		22,630			
	財源内訳	[イ]国庫支出金										
		[ロ]県支出金										
		[ハ]地方債										
		[ニ]その他										
		[ホ]一般財源			19,849		19,775		22,630			
	b 人件費				2,931		3,664		3,298			
総コスト(a 事業費 + b 人件費)					22,780		23,439		25,928			
投入労働量		常勤職員等(人工)		0.40 人		0.50 人		0.45 人				
		一般職非常勤職員等(時間)		時間		時間		時間				
a 事業費 (H28年度決算見込)の執行内訳		需用費 1,168千円 役務費 2千円 委託料 1,147千円 使用料及び賃借料 17,397千円 工事請負費 2,916千円										
指標名			単位	H28目標・計画		H29目標・計画		H30目標・計画		最終目標・計画		
				(H28実績見込)		(H29実績見込)		(H30実績見込)		目標年度		
活 動	①	自動ドア保守回数	回	2 (2)		2 (—)		2 (—)		2 H 32 年度		
	②	空気調和設備保守点検回数	回	2 (2)		2 (—)		2 (—)		2 H 32 年度		
成 果	①	開所日数	日	294 ()		296 (—)		294 (—)		295 H 32 年度		
	②			 ()		 (—)		 (—)		 H 年度		

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	☒ A 必要性が高い	☐ B 必要性がある程度認められる	☐ C 必要性が低い
	☐ 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される ☒ サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている ☐ 法令等により、市に実施が義務付けられている ☐ 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる ☐ 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい ☐ その他 <説明> 年間を通じて多様な来所者に広範なサービスを提供する施設であるため、施設の安全管理、維持管理は必要不可欠である。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	☐ A 目標よりも大きな成果が得られた	☒ B 概ね目標の成果が得られた	☐ C 目標とする成果が得られなかった
	☒ 活動指標の目標を達成した ☒ 成果指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 各種業務委託の実施等により、安全かつ快適な施設の管理運営を行うことができた。			
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 【思いやり】施設管理について、子どもや高齢者、障害のある人なども配慮する。【参加と協働】市政情報の提供及び市政参加、市民活動団体の支援のために、施設内「情報コーナー」の活用を推進する。【経営的な視点】施設、設備の長寿命化と、安全・快適な施設運営のため、日常管理と定期点検を行い、経費節減を図る。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	☐ I 見直す余地がない	☒ II 見直す余地がある程度認められる	☐ III 見直す余地がある
	☐ 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある ☒ 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある ☐ サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある ☐ 受益者負担のあり方について見直す余地がある ☐ 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある ☐ 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある ☐ その他 <説明> 開所以来26年が経過し、施設設備の老朽化が懸念される中、安全かつ快適な環境維持のため、より一層計画的な管理運営を行う必要がある。			

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	☒ A 市で継続実施 ☐ B 休止・廃止 (実施時期 : ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ C 民営化 (実施時期 : ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ D 国・県に移譲 (実施時期 : ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ E 終了 (実施時期 : ☐ H28年度まで ☐ H29年度まで ☐ H30年度まで)			
	成果の方向性	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小		
今後の取組方針	投入資源の方向性	事業費	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小	
		労働費	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小	
		☐ A 見直して継続 ☒ B 現状のまま継続		
	見直しの方向性	☐ 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) ☐ 業務プロセス改善 (実施時期 : H 年度) ☐ 対象・水準等の見直し (実施時期 : H 年度) ☐ 受益者負担の見直し (実施時期 : H 年度) ☐ 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) ☐ 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) ☐ その他 (実施時期 : H 年度)		
		方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)		
施設利用者の安全確保と快適な環境維持のため、計画的な保守管理・修繕等に努める。				